

平成25年度事業報告

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

I 当法人の概況

1 役員に関する事項

(1) 理事及び監事に関する事項

理 事

定 数 9人以上13人以内（会長、副会長及び専務理事を含む）

任 期 選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

現在数 常勤1人、非常勤10人、計11人

監 事

定 数 2人

任 期 選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

現在数 常勤なし、非常勤2人、計2人

(平成26年3月31日現在)

職 名	氏 名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
会 長	佐々木亮子	H25.4.1～ 平成27年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	(有)アールズセミナー 代表
副会長	山谷敬三郎	〃	〃	〃	北翔大学大学院 研究科長
理 事	原 努	H25.6.20～ 平成27年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道中学校長会 幹事
〃	阿部ひろき	H25.4.1～ 平成27年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道P.T.A連合会 前副会長
〃	渡辺 泰典	H25.6.20～ 平成27年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道青年団体協議会 会長

職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
理事	澤田 弘志	H25.4.1～ 平成27年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	北海道商工会連合会 参与
〃	伊藤 一哉	H25.6.20～ 平成27年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道新聞社 編集局生活部長
〃	大石 春雄	H25.4.1～ 平成27年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	札幌市青少年育成委員会 連絡協議会副議長
〃	荒木関 栄	〃	〃	〃	旭川市青少年育成部 連絡協議会会长
〃	池田 秀幸	〃	〃	〃	空知管内青少年育成 運動推進指導員会 副会長
専務理事	瀧上 春男	〃	常勤	〃	北海道青少年育成協会 事務局長
監事	西村 俊二	H25.4.1～ 平成29年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	〃	税理士
〃	岡田 正樹	〃	〃	〃	札幌日本大学学園 事務局長

(2) 評議員に関する事項

定 数 9人以上13人以内

任 期 選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の
終結の時まで

現在数 常勤なし、非常勤11人、計11人

(平成26年3月31日現在)

職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
評議員	本間 茂裕	H25.6.20～ 平成29年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	北海道高等学校長協会
〃	小笠原康友	〃	〃	〃	北海道小学校長会 事務局幹事

職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
評議員	横山 直満	H25. 4. 1～ 平成 29 年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	北海道市長会事務局長
〃	山内 康弘	H25. 6. 20～ 平成 29 年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道町村会事務局長
〃	高崎 盛雄	H25. 4. 1～ 平成 29 年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道子ども会育成連合会 常務理事兼事務局長
〃	今井 建	〃	〃	〃	日本ボーイスカウト 北海道連盟 副コミッショナー
〃	林 光彦	H25. 6. 20～ 平成 29 年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道社会福祉協議会 常務理事
〃	時田 昭子	H25. 4. 1～ 平成 29 年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道女性団体連絡協議会 副会長
〃	菅原 光宏	〃	〃	〃	北海道経済連合会 理事事務局長
〃	小南 裕之	〃	〃	〃	北海道農業協同組合中央会 農業振興部長
〃	稻垣 利彰	〃	〃	〃	札幌家庭裁判所 家事調停委員

2 賛助会員に関する事項

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

種類	前年度末		当年度末		増減	
普通賛助会員 個人	53	人	56	人	3	人
普通賛助会員 青少年関係団体	57	団体	54	団体	△3	団体
特別賛助会員	152	団体	150	団体	△2	団体
合計	262	人・団体	260	人・団体	△2	人・団体

3 職員に関する事項

現在数 7名

(平成26年3月31日現在)

役職	氏名	常勤・非常勤の別
事務局次長	内田 道明	常勤
主任	竹本 郁子	〃
主事	福田 拓哉	〃
専門指導員	千葉 祐一	〃
嘱託	伊藤 友紀	〃
嘱託	榎本 瑞理子	〃
嘱託	乗田 健吾	〃

II 事業に関する事項

1 平成25年度事業の実施状況

別添のとおり

2 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	決議事項	結果
平成25年6月5日	① 副会長の選任について ② 基本財産の指定について ③ 平成24年度収支決算について（監査報告） ④ 公益財団法人移行に伴う諸規程の制定及び改正について ⑤ 評議員会の開催及び目的である事項について	承認 承認 承認 承認 承認
平成26年3月11日	① 平成25年度補正予算（案）について ② 平成26年度活動方針及び事業計画（案）について ③ 平成26年度予算（案）について ④ 資金調達及び設備投資の見込みについて ⑤ 平成26年度資金管理運用執行方針及び計画（案）について ⑥ 北海道青少年基金設置規程の一部改正について ⑦ 財務規程の一部改正について	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認

(2) 評議員会

開催年月日	決議事項	結果
平成25年6月20日	① 平成24年度収支決算について ② 評議員会運営規則（案）について ③ 評議員の補充選任について ④ 理事の補充選任について	承認 承認 承認 承認

(3) 基金管理運営委員会

開催年月日	内 容
平成25年8月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度北海道青少年基金事業実績及び収支決算について ・平成25年度北海道青少年基金運用益交付団体の決定について ・平成25年度「青少年団体・グループ及び青少年顕彰」の決定について
平成26年2月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道青少年基金の造成現況について ・北海道青少年基金運用益の交付・顕彰現況について ・平成26年度北海道青少年基金事業計画（案）について ・平成26年度北海道青少年基金事業予算（案）について ・北海道青少年基金運用益交付要綱の一部改正について ・北海道青少年基金事業顕彰実施要綱の一部改正について

3 所官庁への届出事項

届出年月日	届出事項
平成25年6月25日	平成24年度事業状況報告等の提出
平成25年7月12日	理事・評議員変更の届出
平成26年3月18日	平成26年度事業計画等の提出

4 行政機関から受けた監督上の処分又は指導に関する事項

検査年月日	検査内容	処分または指導
平成25年4月17日	平成24年度補助金事業実績報告に係る現地調査 (道環境生活部)	なし

5 事業報告の付属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当すると思われる事項は特にありません。

II-1. 平成25年度事業の実施状況

近年、青少年の育成を取り巻く状況は、いじめや不登校、児童虐待、有害情報の氾濫と少年の被害、ニートなど若者の社会的自立の遅れ、少年による重大事件の発生など、憂慮すべき様々な問題が生じております。行政や関係団体、企業、NPOなど様々な立場からの連携した取り組みが求められております。

このため、当協会は、平成25年度においても北海道や関係機関・団体等と密接に連携し、青少年の健全育成のため、各般の事業の推進に努めました。

平成25年度における事業の実施状況は、次のとおりです。

I 青少年健全育成の推進

事業名	事業の概要	備考
1. 青少年育成住民運動促進事業	運動を効果的に推進するため、全道に青少年育成運動推進指導員を配置し、関係者との合同会議を開催するなどして、地域での青少年育成運動についての共通理解を深めるとともに、関係団体の連携による地域ぐるみの運動の促進に努めた。	
(1) 北海道青少年育成運動推進指導員の設置	<p>○定 員 238人 (内訳) (総合)振興局(青少年指導員)、教育局(社会教育主事) (総合)振興局管内(青年代表)各1人 札幌市10人、旭川市・函館市は各3人 小樽市・苫小牧市・帯広市・釧路市は各2人 その他の市及び町村各1人</p> <p>○活 動 (1)住民に対する啓発活動(各種集会、街頭啓発) (2)青少年の体験活動等各種活動の促進 (3)非行防止と環境浄化(巡回パトロールなど) (4)市町村民会議設置・運営 (5)その他、行政・関係団体との連携協力</p>	
(2) 青少年育成地域合同会議の開催(北海道と共に)	全道14箇所(各(総合)振興局等)で開催し、青少年育成運動推進指導員や市町村青少年行政担当者等が出席した。 <p>○期 日 平成25年5月13日(月)～6月27日(木) ○会 場 各(総合)振興局単位(14会場) ○対 象 (1)青少年育成運動推進指導員 (2)市町村青少年行政担当者 (3)青少年育成市町村民会議関係者 ○参加者 398名(総計) ○内 容 (1)平成25年度青少年育成施策の推進について (2)少年非行の概況について (3)平成25年度活動方針及び事業計画について (4)北海道青少年基金の運用等について (5)意見交換:青少年育成運動の推進状況と課題について</p>	

事業名	事業の概要	備考
(3)市町村民会議等の連携強化	<p>地域における運動の中核である青少年育成市町村民会議（現在69市町村設置）の活動状況を把握したほか、未設置市町村に対しては結成促進に努めた。また、市町村民会議等への啓発資材の配付や機関誌等による情報提供を行い、地域の連携の強化や運動の支援を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○活動状況の把握 <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度活動状況を取りまとめ、当協会ホームページで公開した。（全市町村民会議） ・現地調査 長万部町青少年健全育成推進協議会 鹿追町青少年健全育成町民会議 今金町青少年健全育成連絡会議 ○結成要請（現地）森町、遠軽町、訓子府町、南富良野町 中富良野町、士別市 	
2. 青少年を育成する環境づくり推進事業	青少年の健全な育成について、社会全体が取り組む環境づくりを進めるため、北海道青少年育成大会や青少年育成運動活性化研究協議会など関連事業を開催し、青少年問題についての共通理解を深めた。	
(1)北海道青少年育成大会の開催（北海道と共催）	<p>地域で活動している青少年育成関係者が一堂に会し、全道の青少年関係者が参加する最大規模の大会として定着しており、基調講演や表彰、「少年の主張」全道大会等を行い、本道における青少年育成活動の一層の推進をアピールすることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○期日 平成25年9月5日（木） ○場所 道民活動センター（かでる2・7）ホール ○参加者 青少年育成関係者 452名 ○内容 <ul style="list-style-type: none"> ・開会式：主催者挨拶 ・平成25年度北海道社会貢献賞表彰式 ・平成25年度北海道青少年基金事業顕彰表彰式 ・平成25年度「少年の主張」全道大会発表、表彰 (札幌市及び14(総合)振興局地区代表)：16人 最優秀賞 (十勝地区代表) 帯広市立川西中学校3年 畠山 優輝 テーマ：「心の境界線」 ・基調講演 演題：「現代の子どもをめぐる現状への支援」 講師：伊藤 美奈子（奈良女子大学大学院教授） ・アトラクション 北海道札幌旭丘高等学校チアリーディング部 	
(2)青少年育成運動活性化研究協議会の開催	青少年育成運動推進指導員のほか、道内各地の関係者やボランティアを対象として、今後の青少年育成運動の活性化を図るために、講演や各テーマを設けた分科会を通じ、地域での指導者等が運動の現状や課題等について研究協議を行い、運動についての共通理解を深めた。	

事業名	事業の概要	備考
	<p>○期日 平成25年10月28日(月)</p> <p>○場所 道民活動センター(かでる2・7)ホールほか</p> <p>○参加者 北海道青少年育成運動推進指導員、青少年育成関係機関・団体の関係者、青少年育成運動を進めている住民組織の会員、(総合)振興局・市町村青少年行政関係職員、青少年補導センター補導委員、少年補導員、更生保護関係等 計257名</p> <p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演 演題：「豊かな体験が青少年を育む」 ～鉄腕アトムと鉄人28号～ 講師：佐久間 章(札幌国際大学スポーツ人間学部 スポーツビジネス学科教授) ・分科会 (第1分科会) テーマ：「推進指導員の活動と課題を見つめ直す」 (ワールドカフェ方式) ファシリテーター：北海道立生涯学習推進センター主査 澤田 慎也 助言者：公益財団法人北海道青少年育成協会 専務理事兼事務局長 瀧上 春男 (第2分科会) テーマ：「子どもを守り育てるためにどう取り組むか」 ～子どもの安全・安心から地域コミュニティの再構築に向けて～ 提言者：地方独立行政法人北海道立総合研究機構 建築研究本部北方建築総合研究所 居住科学部研究主幹 松村 博文 コーディネーター 北海道教育庁石狩教育局教育支援課 社会教育指導班社会教育主事 池田 直也 (第3分科会) テーマ 「青少年の体験活動と自立について考える」 ～子どもたちの社会性・主体性を育むために～ 発表者：留萌市青少年健全育成推進員協議会 副会長 八幡 洋子 浦河町青少年育成対策室協力団体幹事会 松本 正美 助言者：札幌国際大学スポーツ人間学部スポーツ ビジネス学科教授(基調講演講師) 佐久間 章 コーディネーター 北海道青少年育成アドバイザー連絡協議会 副会長 石井 光郎 	
(3)青少年問題を考える地域懇話会の開催	青少年に関する諸問題について学識経験者と地域の活動指導者等による懇話会を市町村民会議との共催により、前年度と同様2回開催し、多数の関係者の参加により、地域の現状や課題解決の方策等について、意見交換が行われた。	

事 業 名	事 業 の 概 要	備 考
	<p>(網走市開催)</p> <p>○期 日 平成25年11月20日(水)</p> <p>○場 所 オホーツク・文化交流施設(エコセンター2000) 2階 大会議室</p> <p>○共 催 網走市豊かな心を育てる活動推進会議</p> <p>○テーマ 「子どもの豊かな心を育てるために ～学校・家庭・地域がどのように連携して 心を育てていけばよいか～」</p> <p>○参加者 地元青少年育成関係者 61名</p> <p>○出席者 基調講演講師・助言者 北海道教育大学釧路校教育科学科教授 玉井 康之 演題:「子どもたちの潜在的な心のゆれについて」 発表者:網走市子ども会育成連合会 会長 松井 弘 こどもみらい事務局長 佐藤 知義 コーディネーター 北海道教育庁オホーツク教育局教育支援課 社会教育指導班主査 会田 大祐</p> <p>(洞爺湖町開催)</p> <p>○期 日 平成26年2月5日(水)</p> <p>○場 所 洞爺湖町役場3階 防災ホール</p> <p>○共 催 洞爺湖町青少年健全育成連絡協議会</p> <p>○テーマ 「地域で大人が何をすべきか ～あなたならどうする、どうしたい～」</p> <p>○参加者 地元青少年育成関係者 44名</p> <p>○出席者 発表者:とうや子ども共和国実行委員会委員長 木村 省平 とうや湖レクリエーションクラブ事務局長 齊藤 敬子 提言者:地方独立行政法人北海道立総合研究機構 建築研究本部北方建築総合研究所 居住科学部研究主幹 松村 博文 コーディネーター 北海道教育庁胆振教育局教育支援課 社会教育指導班主査 山田 智章</p>	
(4)青少年育成関係団体懇談会の開催	<p>青少年育成関係団体が一堂に会し、相互の団体活動の連携協力や青少年健全育成の効果的な促進について情報交換などを行い、共通認識を深めた。</p> <p>○期 日 平成26年2月7日(金)</p> <p>○場 所 かでる2・7 10階 1050会議室</p> <p>○参加団体 13機関・団体</p> <p>○内 容 ・各団体活動状況報告</p>	

事 業 名	事 業 の 概 要	備 考
	<ul style="list-style-type: none"> ・話題提供 演題：「困難を抱える子ども若者の問題」について 説明：公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会 事務局次長 谷山 正司 ・意見交換 	
(5)明るい家庭づくり道民運動の推進	<p>「明るい家庭づくり道民運動」の推進については、「道民家庭の日」の普及啓発を通じ、運動の推進を図ったほか、「家族ふれあい優待制度」協賛店・施設では、関係施設等に協賛協力を要請した結果、254ヶ所となった。</p> <p>また、「道民家庭の日」絵画コンクールについては、全道の小中学生から525点の作品応募があり、前年に比べ46点増となった。</p> <p>○「道民家庭の日」の普及促進 明るい家庭づくり道民運動の一環として制定した「道民家庭の日」の啓発資料(資材)を作成配付するなどして、市町村ほか関係機関・団体の支援・協力のもとにその普及促進に努めた。 (啓発資料) 「道民家庭の日」啓発リーフレット、「道民家庭の日」啓発ポケットティッシュなど</p> <p>○家族ふれあい優待制度の普及促進 家族ふれあい優待制度の普及促進を図るため、各市町村に出向き、情報提供や協力依頼等をしたほか、北海道が進める「北のめぐみ愛食レストラン」や道教委が進める「家庭教育サポート企業」に対し協賛依頼を行い、協賛店・施設の拡大に努めた。 《協賛店・施設》 ホテル・旅館、飲食店、博物館・水族館、テーマパーク・果樹園、ボウリング場、商店、キャンプ場など 計254ヶ所</p> <p>○「道民家庭の日」絵画コンクール2013の実施 全道の小・中学校児童生徒の応募原画の中から審査により入選作品を決定し、表彰するとともに、入賞作品展を開催した。 (応募総数：63校／525点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最優秀賞 2点 (賞状、盾) (小学校の部) 札幌市立大谷地東小学校 3年 元脇あかり 「ふらののお花ばたけ」 (中学校の部) 函館市立桐花中学校 2年 中島 美月 「お父さん、写してエ。」 ・優秀賞 4点 (賞状、盾) ・優良賞 6点 (賞状、盾) ・佳作 24点 (賞状) ・学校賞 2校 (賞状) <p>○絵画コンクール入賞作品展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道庁1階「道民ホールB」 (入場者数：155名) (平成25年11月14日～15日) ・札幌駅前通地下広場 (入場者数：303名) (平成26年 1月16日) 	

事 業 名	事 業 の 概 要	備 考
	<ul style="list-style-type: none"> ・各総合振興局・振興局庁舎 (平成25年12月12日～18日／上川) (平成26年 1月20日～24日／宗谷) (平成26年 2月13日～20日／オホーツク) (平成26年 2月24日～28日／根室) (平成26年 3月 3日～ 7日／渡島) <p>○「道民家庭の日」街頭啓発活動（道、道警、道教委と共に）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日時 平成25年7月～11月（月に1回） ・実施場所 札幌駅西口コンコース ・配付資材「道民家庭の日」啓発ポケットティッシュ及び リーフレット 総計 8, 500個 	
(6)「北海道青少年のための200冊」の選定推奨	<p>○「北海道青少年のための200冊」普及事業</p> <p>北海道学校図書館協会、北海道読書推進運動協議会等の協力を得て、青少年の読書普及の一環として「北海道青少年のための200冊」（平成25年度版は、47冊を更新）を選定し、図書目録や啓発ポスターを作成し、全道の幼稚園や小・中・高の学校など関係方面に配付するとともに、ホームページに掲載するなど、良書の情報提供に努めた。</p> <p>(配付部数) • 平成25年度図書目録 12, 000部 • 平成25年度新選図書目録 11, 000部 • 200冊啓発ポスター 3, 200部</p> <p>(協賛出版社) 26社</p> <p>○第25回読書感想画中央コンクール・第2回全道コンクール 北海道学校図書館協会、毎日新聞社の主催により対象図書として活用された。</p> <p>○第59回青少年読書感想文全道コンクール 第39回北海道指定図書読書感想文コンクール 北海道学校図書館協会、毎日新聞社の主催により、「協会長賞（2名）」を贈呈し、青少年の読書の普及活動を支援した。</p>	
(7)「大人が変われば、子どもも変わる」運動の推進	<p>啓発資料を市町村及び関係機関・団体等に配付したほか、当協会が開催した各種大会等を通じ、運動の推進を図った。</p> <p>(配付部数) 「大人が変われば、子どもも変わる」 啓発パンフレット 3, 000部</p>	
(8)青少年を非行・被害から守る環境づくりの推進	<p>7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、「青少年の非行防止道民総ぐるみ運動強調月間」の一環として関係団体と街頭啓発活動を実施したほか、関連事業と連動させながら、非行防止のための諸活動を推進した。</p> <p>○関係団体と協力した街頭啓発活動等の実施 「夏の暴力追放運動」街頭啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共 催 公益財団法人北海道暴力追放センター ・日 時 平成25年7月19日～8月9日 ・実施場所 地下鉄駅前など札幌駅市内4ヵ所 	

事 業 名	事 業 の 概 要	備 考
	<p>・配布資材「道民家庭の日」啓発ウエットティッシュ、リーフレットなど 計 400個 また、7月の強調月間での街頭啓発等に係る啓発資材として、「道民家庭の日」ポケットティッシュを各（総合）振興局に配付し、非行防止活動の一層の推進に努めた。</p> <p>・配付部数 ポケットティッシュ 計 18,000個</p> <p>○麻薬覚せい剤乱用防止キャンペーンビデオ「DRUG」の貸出 麻薬覚せい剤乱用防止キャンペーン映画「DRUG」のビデオテープの貸出について当協会のホームページで周知を図った。</p> <p>○未成年者の飲酒・喫煙防止活動の促進 当協会のホームページに喫煙と健康の問題に関するサイトを設け啓発したほか、未成年者喫煙防止対策推進協議会に出席し、未成年者の喫煙防止活動の一層の充実を図った。</p> <p>・日 時 平成25年11月14日（木） ・場 所 日本たばこ産業(株)北海道支店ビル3階会議室</p> <p>○有害情報から青少年を守る活動の推進 北海道や学校関係者、情報通信企業などにより構成する北海道青少年有害情報対策実行委員会の一員として、インターネットや携帯電話による有害情報から青少年を守るため、各種啓発活動を進めた。</p>	
(9)講演録集の作成・配付	青少年問題についての理解を深めるため、北海道青少年育成大会や他の基調講演の内容を取りまとめた講演録集を発行し、各市町村・推進指導員・関係機関等に配付した。 ・配付部数 「次代をみつめて’13」講演録集 1,100部	
3. 青少年の社会参加の促進	青少年の社会参加を促進するため、地域の青年が地域づくりに主体的に参画し、その活動を通して地域活動の中核的な担い手として成長することを促進するため「北海道青年活動元気づくりプロジェクト」事業を実施するとともに、地域活動の視野を広げるため「青年活動リーダー養成講座」に取り組んだ。	
(1)青少年の社会参加等への支援 (北海道青少年基金事業)	北海道青少年基金の充実を図るため、関係機関・団体等に対し募金活動を行った。 また、運用益事業では、青少年団体・グループに助成し、青少年の社会参加活動を促進するとともに、他の模範となる青少年団体を顕彰した。 《募金活動》 ○各種団体に対し募金等の協力要請 ○新成人記念募金の協力要請 ○道職員に対し募金の協力要請 ○募金箱設置について協力要請 ○北海道青少年育成大会等での募金呼びかけ	

事 業 名	事 業 の 概 要	備 考
	<p>・基金造成実績 今年度募金等実績額 153万6,795円 (年度当初予算額 150万円) 基金累計額 3億2,688万2,483円</p> <p>『運用益交付等事業』</p> <p>○助成事業 交付申請団体数 47団体 (一般) 交付決定団体数 47団体 (一般) 交付総額 399万5,000円</p> <p>○顕彰事業 ・団体の部 推薦団体数 1団体 決定団体数 1団体 (まっかりアグリパーク実行委員会 (真狩村)) 平成25年9月5日開催の北海道青少年育成大会において 表彰状及び盾を贈呈した。 ・個人の部 該当なし</p>	
(2) 北海道青年活動元気づくりプロジェクト事業の推進	<p>地域の青年団体・グループが行う地域の活性化活動に対し、交付金を交付し活動の推進を図った。</p> <p>○交付青年団体・グループ名・事業名 ・団体名：サタデースクール 事業名：サタデースクール 期 日：平成25年7月15日～平成26年3月15日 場 所：札幌市（札幌市アカシア若者活動センター） 参加者：689名</p> <p>・団体名：オホーツク地域青年活動プロジェクト 事業名：オホーツクMiNiタウンプロジェクト 期 日：平成25年11月 3日～ 4日（網走市） 平成26年 1月18日～19日（北見市） 場 所：網走市、北見市 参加者：764名（網走市：500名、北見市：264名）</p>	
(3) 青年活動リーダー養成講座の開催	<p>地域の青年活動におけるリーダーを養成し地域活動の活性化を図るため、一般財団法人北海道青年会館と共に「青年活動リーダー養成講座」を開催した。</p> <p>○第1回：自分の中のフックを探せ!～人と関わり “自分”再発見 ・期 日 平成25年12月14日～15日 ・会 場 とかちプラザ（帯広市西4条南13丁目） ・対 象 道東圏の総合振興局等（オホーツク、十勝、釧路、根室）及び道央圏管内の地域で、社会参加活動等に取り組んでいる若者 ・参加者 19名 ・関係者 (トータルコーディネーター) MIW工房コミュニケーション・ナビゲーター 姉帶美和子</p>	

事業名	事業の概要	備考
	<p>(運営者) 北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課 社会教育・読書推進グループ主査 芳村 桐子 胆振教育局教育支援課社会教育指導班主査 山田 智章 根室教育局教育支援課社会教育指導班主査 热海 桂子 十勝教育局教育支援課社会教育指導班社会教育主事 尾山 清龍</p> <p>・内 容</p> <p>(1日目)</p> <p>(1) グループワーク 「これから関係づくりのために」 「リーダーってどんな人?」</p> <p>(2) ペアワーク 「人とかかわり、自分を深める」</p> <p>(2日目)</p> <p>(1) 演習「イメージを言葉に」</p> <p>(2) プレゼンテーション 「思いの架け橋を相手に届けよう」</p> <p>○第2回：やりたいことを社会化する～企画・立案・プレゼンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 平成26年2月15日～16日 ・会 場 北海道青年会館（札幌市北6条西6丁目） ・参加者 15名 ・関係者 第1回と同様 ・内 容 <p>(1日目)</p> <p>(1) 講話 演題：「リーダーシップ論」～輝くリーダーを目指して～ 講師：吉本 平史(中小企業診断士・人財共育マスター)</p> <p>(2) 演習+グループワーク「私のフックに引っかかったもの」「企画しよう!社会とリンクする」、「中間発表～サポート ちようだい！」、「企画再検討」</p> <p>(2日目)</p> <p>プレゼンテーション</p> <p>○事業報告書を作成し、市町村、関係機関・団体等に配付 (配付部数) 青年活動リーダー養成講座事業報告書 200部</p>	
4. 広報啓発活動の推進	青少年育成運動に対する道民の理解と関心を高めるため、協会機関誌の発行やホームページの活用を図ったほか、講師を派遣し、青少年育成運動を推進する上での、情報提供に努めた。	
(1)啓発資材の作成・配付	「道民家庭の日」絵画コンクール入賞作品12点による平成26年カレンダーを作成し、市町村、小・中学校、関係機関・団体に配付し、青少年育成運動の普及促進に努めた。 (配付部数) 平成26年カレンダー 7, 400部	
(2)協会機関誌の発行	協会の事業報告や関係機関の関連記事など、青少年育成運動の推進に対する理解と関心を高めるため、機関誌を年2回発行し、各総合振興局・振興局、市町村、関係機関・団体、賛助会員等に配付し、広報啓発を行った。 (配付部数) 協会機関誌 4, 000部 (各回)	

事 業 名	事 業 の 概 要	備 考
(3)講師派遣の実施	<p>市町村、育成団体等が開催する各種研修会に講師を派遣し、全道の青少年育成運動の現状と課題等について講演を行った。</p> <p>○派遣場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌市中央区青少年育成委員会連絡協議会 (参加者91名) ・江差町教育委員会、江差町青少年健全育成会議(参加者40名) 	
(4)ホームページの活用	<p>インターネットの特性を生かし、大会や研究協議会の開催予告及び結果、絵画コンクール作品募集等の記事を迅速に掲載するとともに、出版物の電子版を掲載するなど情報発信に努めた。</p>	
5. 国や中央団体等との連携	<p>内閣府主催の子ども・若者育成支援のための中央研修会や北海道・東北ブロック研修会に青少年育成運動推進指導員等を参加させるとともに、独立行政法人国立青少年教育振興機構との連携により、「少年の主張全道大会」を開催した。</p>	
(1)北海道・東北ブロック研修会及び中央研修会の参加	<p>《北海道・東北ブロック研修会》</p> <p>○日 時 平成25年10月8日（火）</p> <p>○場 所 山形テレサ(山形県)</p> <p>○参加者 北海道青少年育成運動推進指導員等 8名</p> <p>《中央研修会》</p> <p>○日 時 平成25年11月25日（月）～26日（火）</p> <p>○場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都)</p> <p>○参加者 北海道青少年育成運動推進指導員等 5名</p>	
(2)「少年の主張」全道大会の開催(北海道と共催)	<p>(独) 国立青少年教育振興機構から業務を受託し「少年の主張」全道大会を開催するとともに、発表内容を掲載した作品集を作成し、全道の中学校、市町村、関係機関等に配付したほか、ホームページ及び協会機関誌に掲載した。</p> <p>(配付部数) 「少年の主張」全道大会発表作品集 1, 200部</p>	
(3)北海道児童館連絡協議会の事務局業務の受託	<p>道内の児童館で構成する北海道児童館連絡協議会の事務局業務を行った。</p> <p>○北海道児童館連絡協議会総会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時 平成25年7月8日（月） ・場 所 第二道通ビル6階603会議室 	
(4)「日本の次世代リーダー養成塾」道内高等学校生の派遣事業に対する協力	<p>次代の北海道を担う青少年育成協議会が実施する高校生の派遣事業に構成機関として協力した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣高校生 10名 ・派遣期間 平成25年7月26日～8月8日 ・派遣先 第10回「日本の次世代リーダー養成塾」(福岡県) 	